

授業改善の視点の具体化について 平成24年 5月

①目標を明確にして、活動意欲につなげる

<課題の掴ませ方>

- ・「漠然」を「明確」にさせたいという気持ちを起こさせるような課題の与え方、掴ませ方をする。
- ・「きまり」への予感を持たせるような課題の与え方
- ・「自分でもできそうだ」と思わせる
- ・学習の筋道が明確で、何をしていけば解決につながるかが分かる

②自分なりの考えを持って、ペア学習や班学習を行う

<考えを持たせる>

- ・個人思考の時間を設定する
- ・分からないこと、分かることの分別

<ペア学習・班学習>

- ・話し合う（活動する）視点を明確に
- ・どの場面でペア学習・班学習を入れるか
- ・進行役（リーダー）育成
- ・時間を決めて

話し合いの力

ア 聞くこと

- ・話している仲間を大切に
- ・どんな話か、それについての自分の意見は
- ・自分の考えとどこが違うか、どこが同じか
- ・聞き返す（分からないこと、尋ねたいこと）
- ・話を遮らない

イ 話すこと

- ・自分の考えを持つ
- ・落ち着いて はきはき 笑顔で
- ・できるだけ結論を先に
- ・語尾を明確に
- ・要点を押さえて
- ・聞き手の反応を確かめながら

ウ 話し合い

- ・共通点、疑問点、問題点を明らかにして
- ・訂正・補正・整理しながら内容を絞っていく

- ・ 1対1から全部が共有
- ・ 自分の意見に固執することなく

グループ学習の入れ方

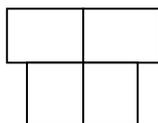
- ・ 個人—ペア—班—全体
- ・ 全体—班—個人—全体
- ・ 班—全体—個人—全体

③授業内容と家庭学習とをつなげる授業構成を行う

- ・ 課題を残して授業を終わる
- ・ 予習内容を授業に活かす
- ・ 学習内容のポイント（重要な所）が分かる授業・板書
- ・ 前時の学習のチェック（小テスト等）

■班学習の例

①机の配置・・・原則4人



②ジグソー2

グループ4人が課題の分担→課題ごとの担当者が集まって話し合い、グループのメンバーに教える準備→グループに戻って自分の分担箇所を教え合い討議する

■指導案の作る意味

- ①ゴールを決める（目標・課題を明確にする）
- ②生徒の反応を予想する
- ③手立てを準備する